

ドクター + 教えて

「におい」と「味」

磐田市立総合病院 耳鼻咽喉科 部長 大嶋 吾郎

人の生活と嗅覚・味覚は密接に結びついていきます。食欲をそそるにおいやおいしい味、すてきな花の香りなどは生活を豊かにし、ガス漏れのおおいや腐っている食べ物の味など危険なおおいや味も大事です。

空気中のおおいのものは外鼻孔と呼ばれる鼻の穴から鼻内に入り、鼻腔内の脳に近い嗅上皮と呼ばれる粘膜でおおいの神経を刺激します。花粉症などで鼻汁が多く出たり鼻の粘膜が腫れてしまうと、においが嗅上皮まで届かず、においを感じる

ことができませぬ。風邪をひいたときの急な炎症や慢性副鼻腔炎による慢性的な炎症により嗅上皮が壊れてしまった場合も、うまくにおいを感じる

ことができなくなってしまう。

食べ物や飲み物の味は口の奥でも多少感じる

ことができますが、多くは

舌に多数ある味蕾と呼ばれる部分で感じます。その味覚には、甘味・塩味・酸味・苦味・うま味の5種類あり、それらが組み合わさり一つの味を作っています。口内炎や舌炎で舌が荒れたり、唾液分泌が減って舌が乾燥したりしてしまつと、味蕾の調子が悪くなり味を感じにくくなります。

また、人体に微量に存在する亜鉛が不足すると、味が分からなくなつたり苦味だけを感じるようになります。味覚は正常なのに嗅覚が悪くなることで、いつもの味と違うように感じる「風味障害」もあります。

嗅覚・味覚障害にはさまざまな原因があり、飲み薬や点鼻薬・手術など、状態に合わせて治療法も大きく変わります。

お困りの場合は何週間もそのままにせず、お近くの耳鼻咽喉科でご相談されるのが良いでしょう。

地域防災訓練

に参加しましょう！

☎ 地域づくり応援課

FAX 0538-1-2353
0538-1-2371-4751

12月1日(日)は地域防災訓練です。市内の指定避難所を中心に各地域で防災訓練が行われます。大規模災害時は市と地域が連携して避難所を立ち上げ、避難者自らが避難所を運営していくこととなります。

訓練では、避難者の受け付けと避難所利用者名簿の作成など、避難所生活に必要な訓練を各避難所で企画し実践します。もし自分が避難したらどうすればいいのか、避難所を運営するには何が必要か…。積極的に地域防災訓練に参加し、大規模災害に地域の皆さんで備えましょう！

※いわたホッとラインに登録

して防災情報を入力しよう
※指定避難所の一覧は防災
ファイルまたは市ホーム
ページをご覧ください

ページ番号 1001127

いわたホッと ライン登録方法

① entry@hotline.city.iwata.shizuoka.jp に空メールを送信(件名、本文なしで結構です)または下記の2次元バーコードをご利用ください



② 返信メール受信後、画面の案内に従って登録してください

登録方法に関するお問い合わせは「コールセンター」フリーダイヤル
0120-670-970
午前9時～午後6時
(平日のみ)へ



▲防災ファイル



▲訓練風景(受付・名簿作成)



▲訓練風景(炊き出し)



▲訓練風景(情報班)

くらしの
田
情報